

2021年7月新聞記事を読む会用		吉岡
NO	記事	日付
1	ファイザー生ワクチン件10月第1周全量確保	7/11(1)
2	五輪無観客で運営見直し	7/11(1)
3	どっち 注力すべきは敦賀以西 (在来線問題)	7/10 (2)
4	五輪無観客自治体の思惑交錯	7/10 (4)
5	開催の大義はどこにある	7/10 (5)
6	小学生6年生の夢にコロナ影響	7/10 (13)
7	不自由展大阪開催可能に	7/10 (29)
8	快適夏マスク続々	7/9 (6)
9	監視と密告 異常な世界中国ウイグル自治地区ルポ	7/9 (9)
10	大谷選手驚異年間60スペース	7/9 (19)
11	旧西武新館ビル再開断念	7/8'1)
12	正気と狂気案外近い、朝鮮出兵の真理に迫る (秀吉)	7/8 (14)
13	新卒採用にAI面接	7/7 (7)
14	中国共産党100年光と影	7/6 (9)
15	<b>ビデオ通話で手軽に交流</b>	<b>7/6 (12)</b>
16	<b>コロナ飲み薬に期待</b>	<b>7/6 (32)</b>
17	熱海土砂流で130棟流失	7/5 (1)
18	インパル作戦従軍松田さん	7/3 (26)
19	<b>中国病人から大国へ</b>	<b>7/2 (4)</b>
20	皇族減少対策二案限定	7/1 (5)
21	太陽の光初期費用0で (北陸電力グループ)	6/30 (6)
22	<b>ワクチン接種3割が消極的。同調圧力差別が怖い</b>	<b>6/29 (20)</b>
23	学生のeスポーツ支援	6/27 (3)
24	美浜三号再稼働	6/24 (1)
25	<b>AIロボット兵器世界初使用か?</b>	<b>6/23 (8)</b>
26		
27		
28		
29		
30		

通話相手をお互いに映し出し、顔を見ながら電話のように話せるLINEのビデオ通話機能



## ビデオ通話で 手軽に交流

「LINEのアプリでメッセージに加え写真や動画も送れる、音声通話やビデオ通話もできて手軽」とLINEの魅力を話す福井市の羽川裕美子さん(66)。朝起きて用いているメッセージに返信し、日中は友人に趣味の写真を送ったり家族と買い物履歴を取ったりと活用している。

日常生活に浸透しているスマホの通信アプリLINE。だが、県内のスマホ教室の関係者は「高齢者では使えていない人もまだまだ多い」と話す。「コロナ禍で人と会うのが難しい今こそ、ビデオ通話やLINEのさまざまな通話機能を活用してほしい」とアドバイス。県内の高齢者利用状況や最初の使い方を話を聞いた。(吉田 優)

### LINE機能活用 県内高齢者まだ少なく

「LINEのアプリでメッセージに加え写真や動画も送れる、音声通話やビデオ通話もできて手軽」とLINEの魅力を話す福井市の羽川裕美子さん(66)。朝起きて用いているメッセージに返信し、日中は友人に趣味の写真を送ったり家族と買い物履歴を取ったりと活用している。

LINEは皆さんの機能があるが、佐藤さんのお勧めはビデオ通話機能。2人とも複数の相手とでも楽しくカメラの向きを切り替えれば自分の表情または周りの風景を相手に送ることができる。羽川さんは東京の娘と年々以上面談会すおりに、羽川さん夫婦と娘夫婦とLINEのビデオ通話機能を活用したオンライン飲み会を1年に4回開催している。顔を直接見話せる、互いのわずかな変化に気づく安否確認にもなり、たわいもない話でも盛り上がったりも娘との仲が深まったと実感する。佐藤さんは「LINEなどのアプリは決して活用してほしくない」として、使い方を教えるよりも身近な頼れる人全員に活用してほしいと話す。

いかにして高齢者は少ないのではないかと指摘する。同協会が福井市内の2つの公民館で開いたスマホ教室に通った60代以上の30人のうち、以前からLINEのメッセージ機能利用は2人、28人は家族などに勧められたが、入れたけどどう。佐藤さんは「コロナ禍で引きこもりがでる外出しない高齢者も多く、特に男性が多い」といって「積極的にLINEを利用してほしい」と力をめる。

# コロナ飲み薬に期待

## 治療薬の国内治験開始



「飲む」タイプのコロナ飲み薬

変異株備え 選択肢多様化も

【福井県】新型コロナウイルス感染症の治療薬として、国内で治験が開始された。厚生労働省が承認した「レムデシビル」は、海外で効果が認められている。国内でも治験が開始された。また、国内で開発された「デキサメタゾン」も治験が開始された。さらに、「バリシチニブ」も治験が開始された。

厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の治療薬として、国内で治験が開始された。厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の治療薬として、国内で治験が開始された。厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の治療薬として、国内で治験が開始された。

国内で使われている主な治療薬

薬名	開発状況
レムデシビル	エボラ出血熱のために開発された抗ウイルス薬。治療薬として承認されている。
デキサメタゾン	アレルギー性疾患などに使用されるステロイド系抗炎症薬。副作用が少ない。
バリシチニブ	新型コロナウイルス感染症の治療薬として承認されている。

製薬会社	名称	開発状況
米メルク (MSD)	モルヌピラビル	海外治験中、国内治験開始
スイス・ロシュ (中外製薬)	AT-527	海外治験中、国内治験開始
米ファイザー	PF-0732133	海外治験中
塩野製薬	未公表	9月までの国内治験入りを目指す

「飲む」タイプのコロナ飲み薬

「飲む」タイプのコロナ飲み薬は、海外で効果が認められている。国内でも治験が開始された。厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の治療薬として、国内で治験が開始された。

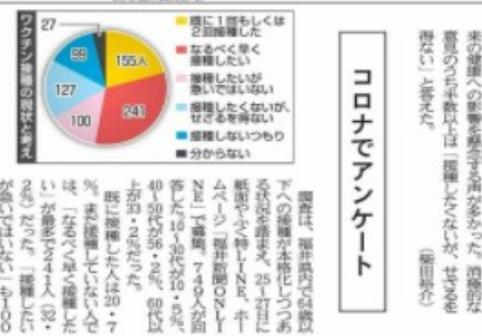
対策特別地域

福井県は、福井県内でも感染が拡大している。対策特別地域として、福井県内でも感染が拡大している。対策特別地域として、福井県内でも感染が拡大している。

みんなで発掘

ふくい

特報班



## 「せざるを得ない」「しないつもり」

健康不安多く

福井県民の多くは、健康不安を感じている。健康不安を感じている人は、接種しないつもりや、接種したくないという回答が多かった。健康不安を感じている人は、接種しないつもりや、接種したくないという回答が多かった。

同調圧力、差別が怖い

ワクチン接種を望まない人への同調圧力や差別が怖いという声が多く聞かれた。同調圧力や差別が怖いという声が多く聞かれた。同調圧力や差別が怖いという声が多く聞かれた。

## ワクチン接種 3割が消極的

健康不安多く

福井県民の多くは、健康不安を感じている。健康不安を感じている人は、接種しないつもりや、接種したくないという回答が多かった。健康不安を感じている人は、接種しないつもりや、接種したくないという回答が多かった。

同調圧力、差別が怖い

ワクチン接種を望まない人への同調圧力や差別が怖いという声が多く聞かれた。同調圧力や差別が怖いという声が多く聞かれた。同調圧力や差別が怖いという声が多く聞かれた。

福井新聞「みんなで発掘 ふくい特報班」(ふく特)は、暮らしの中で感じている疑問や地域の困りごと、不正の告発といった情報を密着していただき、記者が取材を進める調査報道企画です。LINEの「友だち」に登録してください。情報提供もお待ちしております。メールやファックス、郵便でも受け付けます。情報源の秘匿は厳守します。

情報お寄せください

LINE

ふく特@fukushimbun.co.jp

TEL 0776-57-5145

# 中国「病人」から大国に

## 表層深層

欧米列強の侵略で満身創痍の「病人」と呼ばれた中国で生まれ共産党が1日、創建1世紀を祝った。独裁が揺らぐ危機を何度も迎えたが、支配の正統性の根拠を伝統的な社会主義から経済成長へと巧みに切り替え、民主化の波も押し返し崩壊論を克服、西側を脅かす大国を率い膨張する赤い政党は活動の場を世界に広げようとしている。【一面に本記】



### 共産党100年 巧みな独裁 西側脅かす

文豪の失望  
「立ち上げ、奴隷化するのを望む者たちよ。1日の党創建100年の祝賀大会で、習近平総書記(国家主席)らが合唱した中国国歌は日本の侵略に抵抗を呼び掛けている。党員の田漢が1930年に作詞した。19世紀のアヘン戦争や日清戦争以来、中国は列強に国土を割られる危機に陥った。苦悶意識を強めた知識人らは21年7月に共産党を結成する。その約3カ月後、当時29歳の作家茅盾の『野火』が新報社の特派員として侵略に揺れる上海を訪れ、党創業者らに取材していた。芥川はアヘン取引や強盗が横行する中国に失望し、政治、学問、経済、芸術(文壇)とく離落している」と書き残す。1歳年下の毛沢東は革命青年の集りを反映して

#### 中国共産党の歩み

- 1921年7月 中国共産党創建
- 27年 国民党の蔣介石が共産党弾圧。毛沢東が井冈山に農村革命根拠地
- 31年 瀋州事変
- 49年 毛が中華人民共和国成立を宣言①
- 50年 朝鮮戦争参戦
- 58年 「大躍進」運動
- 66年 文化大革命開始②
- 72年 日中国交正常化
- 76年 毛死去
- 78年 鄧小平氏が主導権確立、経済改革の改革・開放路線決定
- 89年 天安門事件。趙紫陽総書記が失脚、後任に江沢民氏③
- 92年 鄧氏が「南方講話」、改革・開放加速を呼び掛け④
- 97年 香港返還

個人崇拜で混乱  
49年10月、革命を率いた毛は北京の天安門の壇上で中華人民共和国成立を宣言。党の求心力を支えたのは理念よりも毛のカリスマで、そのことが中国を大混乱に陥れる。毛は生涯向上を強引に進めて失敗し、大量の餓死者を出した。党内での立場が危うくなる。批判者を粛正する政治運動を展開。66年から約10年続いた「紅衛兵」が知識人や幹部に暴行を加え文化財を破壊した。死者は1千万ともされる。毛の死後、実権を握った鄧小平氏は混乱の反省から個人崇拜にたががる幹部

# 世界初使用か

## トルコ製無人機、兵士攻撃

### AI殺人ロボット兵器

#### 昨年、内戦下のリビア

トルコ・アンカラの工業施設に並ぶ軍事企業STMの小型無人機Kargu。リビア内戦で使われたKargu-2の改良前の型だ。2020年6月(Getty Images)

「自律致死兵器システム(LAWS)」と呼ばれる殺人ロボット兵器の表戦投入が確認されたのは世界初とみられる。倫理面からの批判は必至で、国際的な規制を求める声が強まっている。

#### 国連報告書

報告書はリビア北部で墜落した無人機の残骸の写真を掲載しており、パネルは回収し残骸を分析した。だが、情報元の機密性も考慮し、パネルは「特定の機密情報」を削除し、AI兵器の運用に詳細がつかないとしている。AI兵器に詳しい京都産業大の本報告書は、比較的小規模な軍事作戦でAI兵器の運用が確認された。パネルのメンバーで、対空型のアリアン・フン氏は共同調査の取材に「取組めにより何とも言えない」として、リビア内戦ではトルコが後援しず承認放棄と、ロシアなどが支援するLNAが対立、各勢力が無人機などを持ち分新型兵器の実験場になっていると指摘している。リビアは国連制裁などの国際制約が、軍事や金融などの専門家パネルが進行状況を調べ、報告書まとめていく。共同「小規模、新兵器」

LAWS 人工知能(AI)を使い、人間の介入なしに自動で識別して殺傷する殺人ロボット兵器。「自律致死兵器システム」を指し、英の「LETAL(致命的)AUTONOMOUS」を意味する「WEAPON SYSTEMS」(システム)の頭文字を取り、「ロース」と読み、軍事専門家は「ロスター」に登場する殺人ロボットがメインに読む。

用いた例があるが、いずれも地上の操縦員による遠隔操作。今回の無人機はAIによる識別機能備え、操縦の指針なしで目標を認識、攻撃しようとする。報告書によると、無人機はトルコの軍事企業STMが開発した「Kargu-2」で、4個の回覧で飛行し機密などを搭載。昨年3月に始まった暫定政府の作戦で運用され、軍事組織「リビア国民軍(LNA)」の兵士や輸送車両を追尾、攻撃した。パネルのメンバーで、対空型のアリアン・フン氏は共同調査の取材に「取組めにより何とも言えない」として、リビア内戦ではトルコが後援しず承認放棄と、ロシアなどが支援するLNAが対立、各勢力が無人機などを持ち分新型兵器の実験場になっていると指摘している。リビアは国連制裁などの国際制約が、軍事や金融などの専門家パネルが進行状況を調べ、報告書まとめていく。共同「小規模、新兵器」